

山田第五小学校に係る学校規模適正化説明会 議事概要
(山三小学校の児童の保護者)

- 1 日 時 令和5年9月10日(日) 午前10時00分～10時35分
- 2 会 場 山田第三小学校 多目的室
- 3 参加者 山田第三小学校の児童生徒の保護者 11名
教育未来創生室 薬師川室長、木村参事、土井主幹、向垣内主幹指導主事、
渡辺主査、金谷係員
- 4 内 容 山田第五小学校に係る学校規模適正化について
- 5 質疑応答

保 護 者：ありがとうございました。経過措置で、中学校選択制ということですが、いずれは皆山五の地区の方も全員西山田ってということですか。どんなに中学が隣にあったとしても、遠くの中学に行くということでしょうか。

教育委員会：この経過措置につきましては、実際に児童さんがどういう選択をされるのか、保護者さんがどういう選択をされるのか、という実績を数年にわたって見させていただいて、それを見極めた後に判断をさせていただこうというふうに思っております。もう二、三年というスパンというよりかは長期で見させていただいた後に、その時点の状況で判断をさせていただきたいと思っております。

保 護 者：私は、先ほどおっしゃられていた山三が山五に統合される前の時の卒業生なんですけども、その時の校区が確か今の山五が全部山三ではなかったような記憶があるんですが、これは統合されることによって前の校区に戻るのか、単純に山三と山五の校区が合わさるのか。

教育委員会：はい。今おっしゃられる通り、元々山田南だけが山五校区ではあったんですけども、途中で山田市場の9番から11番、ここが山五校区になったという経過がございます。今回のこの取り組みにつきましては、現在の山五小学校区が山三小学校と統合をするというふうな取り組みでございます。

保 護 者：山五の子供たちが山三の方と一緒に入ってきて、クラスとしては全学年で12学級とか15学級ということだから、1学年2学級。ということは1学級は何人ぐらいの子供達になる見込みなんですかね。

教育委員会：ピーク時で大体学校全体としましては、400 を超えるような児童数で、1 学年は 50 から 80 それぐらいの規模に。

保 護 者：単純にピーク時で倍の 40 人とか 45 人とかが 1 クラスになって、ちょっとなだらかになってきたら。

教育委員会：今は 35 人学級です。

保 護 者： 35 人学級が標準っていう感じなんですか。

教育委員会：そうですね。令和 7 年度には 1 クラス 35 人学級というのが完成図として完成しますので、それをベースに学級数が決まると。

保 護 者：今子供が 4 年生なので、いつぐらいからそうなるのかなと思うんですけど。

教育委員会：今我々検討してるスケジュールとしましては、令和 7 年度に統合をさせていただきたいというふうに考えております。

細かなことでも何でも結構です。気になることがございましたら、ご質問いただければ回答させていただきます。ご意見等ご質問よろしいですか。今回の説明会の通知文を送らせていただいた時に、メールアドレスも書かせていただいております、後日気になったこととかご質問ございましたら、そちらにご連絡いただきましたらまたご対応させていただきますし、あわせて 9 月 15 日からパブリックコメントでということで、今回条例の改正が必要になりますので、そちらの方で出していただいても結構です。今後気になる点がありましたらどうぞ遠慮なくこちらの方にご連絡いただければと思います。ご質問を複数いただいたんですけども、よろしかったですか。

保 護 者：ここでの質問がずれていたら申し訳ないんですけども、学童保育が今山三にもあって、ちょっと山五の状況は私は存じ上げないですが、子供達が入ってきて学童保育っていうのももりもりになる。希望の子供達が増えていっぱいになって入れないとか、そこら辺の影響っていうのが、どれくらい出そうなのかすごく心配です。

教育委員会：学童なんですけれども、今山五の方が直営で 1 クラスということで聞いております。山三の方は 2 クラスということで聞いておりまして、クラスが 1 つ増えるのかなというふうに担当の方からは聞いておりまして、引継ぎとかも

しっかりしながらそこは齟齬とかがないように適切に対応させていただくということで申しておりますので、安心していただいているのかなと考えております。

保 護 者：ちょっとずれているのかもしれないんですけども、山五の新しい通学路の検討のところで、防犯カメラとか防犯灯の設置とかっていうところなんですけども、それは市の方が負担していただけるんですよね。山三のPTAで防犯の担当なので、それがPTAがするのか、学校がするのか、市がするのか、山五の方もPTAがどこがどう引き継ぎができるのかなと思ひまして。

教育委員会：当然負担は我々でさせていただきます。

保 護 者：支援級とかはどうなってくるのか教えていただきたいです。

教育委員会：数ということですか。

保 護 者：数とか、何人に対して何人とかあるじゃないですか。それが、吹田市はどういう感じなのか。

教育委員会：支援学級の方はおっしゃっていただいた通り、何人に対して教員が何人配置ということになりますので、児童さんの数が増えたら増えた分の基準だけ配置の数が増えますので、その手厚さっていうのは変わらないっていうふうにご認識いただいて。

保 護 者：合同交流イベントとかの山五と山三はあれなんですけど、私5年生がいて、中一の時に合併になるじゃないですか。西山田と交流イベント年に1回かな、中学校に入るためにあると思うんですけども、そういうふうな感じで山五の子達もなるとは思うんですけど、でも山五の中で行く子と行かない子がいるじゃないですか。そういう時どうなるのか。中学は何人になるか分からないですよ、統合したとしても。どう交流していつてくださるのかなと思ひまして。

教育委員会：そこに関しましては、他の校区でも同じように選択できるようなエリアがございまして、その例を参考に校長先生とちょっと話をしてどう進めていくのかという検討をこれからさせていただきたいと思っております。

保 護 者：山五の先生方は、自動的に山三に来られるんでしょうか。

教育委員会：今、決定ではないんですけれども、過去北千里小学校を統廃合した時に、北千里小学校は南山田小学校と古江台小学校にそれぞれ分かれるような形で、統廃合があったんですけれども、その時の実績からしましたら、通常の人事異動よりも手厚く北千里小学校の先生がそれぞれの学校に配置をされた、というふうな配慮が行われた実績がございます。この実績を元に、我々もその人事権を持っておる部署がございますので、そこに話はさせていただいておりまして、なるべく、山五小学校の児童と仲の良い先生を人事異動で配置したいというふうに考えておりまして、その方向で検討はしていただくいうところではあるんですけれども、ただ人事権の最終的なところは大阪府であつたりとかということもあるので、そこは最善の配慮を検討しておるという状況でございます。

他にご意見、ご質問等ございませんか。よろしいですか。では、先ほども申し上げたんですけれども、またメールアドレス等、そちらに気になる点ですとかご不明な点をご連絡いただきましたら、対応させていただきますのでよろしくお願いいたします。本日は貴重なお休みの日にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。それではちょっと短い時間でしたけれども、これで説明会の方終わらせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。